

(別添1)

令和3年度老人保健健康増進等事業

<介護職員等による喀痰吸引等の円滑な実施に関する調査研究事業>

株式会社日本能率協会総合研究所

(事業目的)

高齢化の進行に伴い、高齢者の医療ニーズも増大していくと予測される中、医師や看護師の負担が増加していくと推測されている。

高齢者の医療ニーズに対応するため、介護職員が医療ニーズに対応する需要が高まり、平成24年4月1日の「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」に施行に伴い制度化された介護職員等による喀痰吸引等の実施について、登録特定行為事業者は平成28年4月時点の16,638件から、令和2年には19,047件と増加している。

登録特定行為事業者の増加に伴い、喀痰吸引等の安全管理の必要性も高まっており、事業者における安全管理や介護職員のサポート等の体制の充実が必要とされている。

本事業においては、介護福祉施設・事業所において、介護職員等が実施する喀痰吸引等の安全管理、連携体制の構築等に関する実態を把握し、今後、介護保険福祉施設等において介護職員が喀痰吸引等を安全に実施するための現状把握と課題の整理を行った。

(事業概要)

上記の目的を達成するため、本事業では、「検討委員会の設置・運営」「アンケート調査の実施」「ヒアリング調査の実施」「報告書作成」の4つに取り組んだ。

項目	取組内容
検討委員会の設置・運営	職能団体・学識経験者等による検討委員会を設置し、4回の委員会を開催した。
アンケート調査の実施	登録特定行為事業者およびその事業所で喀痰吸引等を提供している介護職員を対象に、喀痰吸引等の実施体制やサポート体制に関する実態を把握するためのアンケート調査を実施した。  調査①事業所調査：配布(10,735件)⇒回収(2,161件) 回収率(20.1%) 調査②介護職員調査：配布(21,470件)⇒回収(2,557件) 回収率(11.9%)
ヒアリング調査の実施	アンケート調査の結果から、安全管理体制やサポート体制についての取組が実施されている好事例の事業所(6件)に対してヒアリング調査を実施した。
報告書作成	上記の調査結果を基に、喀痰吸引等の円滑な実施に向けた課題等を整理した。